JO-BI DE 再進学

Re Start!

SpecialTalk | vol.1

再進学を決めた学生。
自分の夢を一生の仕事にするために。

社会人経験者や大学生等が再度専門学校への進学をする。
こうした「再進学」希望者が年々増えてきています。
社会人生活はおよそ40年。
本当に自分のやりたい事を仕事にするために
JO-BIへ再進学した学生と、それを支える先生からのメッセージです。

学生 対談 先生

オフィスビジネス科 2年　門馬 愛実さん × 担任 星かおり先生

こども保育科 1年　根本 志穂さん × 担任 上國料 多希先生

国際観光科 2年　西村 優希さん × 担任 佐藤 宗先生

公務員短期受験科　相川 真将さん × 担任 岩井 拓哉先生

スポーツビジネス科 2年　加藤 梨花さん × 担任 大内 広信先生

JO-BI Business & Public Servant

国際ビジネス公務員大学校

〒963-8002郡山市駅前1-12-2

0120-1984-41 E-mail jo-bi@fsg.gr.jp www.jo-bi.jp

検索ワード JO-BI 検索

facebook http://www.facebook.com/JOBI198441 LINE @jo-bi.fsg @jobi198441

JO-BI 国際ビジネス公務員大学校とは?

JO-BIはビジネス・公務員・保育分野のスペシャリストを育成する
福島県唯一の専門学校です。

JO-BIは5つのジャンルからなる専門学校です。

医療事務分野
- 医療情報科(2年制)
- 医療秘書科(2年制)
- 調剤ビジネス科(2年制)
- 歯科アシスタント科(2年制)
- 医療事務科(1年制)

誰かのために、
自分のために、
優しさで教える
仕事がしたい。

ビジネス分野
- オフィスビジネス科(2年制)
- 会計ビジネス科(2年制)
- 販売ビジネス科(2年制)
- スポーツビジネス科(2年制)
- ホテルビジネス科(2年制)
- 観光科(2年制)

明日を楽しく便利に。
大切な時間、大切なものを
共有・提案する
仕事がしたい。

公務員分野
- 公務員科(2年制)
- 公務員短期受験科(1年制)

奉仕の気持ちを持ち、
国民の安心と安全を守る
仕事がしたい。

こども保育分野
- こども保育科(2年制)

こどもたちを
笑顔いっぱいにできる
保育者になりたい。

国際分野(留学生対象)
- 国際ホテル・ツーリズム科(3年制)
- 国際ビジネス科(1年制)

チャンスが広がる
日本で自分の可能性を
試したい。

1 授業のこと

JO-BIの授業はこれまでの経験・学習歴に関係なく、ゼロから始めます。また放課後には自習スペースを開放し先生方から個別にサポートを受ける事ができます。

2 クラスメイトのこと

各クラスにおける高校既卒者の割合はおよそ10%ほどで年齢層もさまざまです。また、クラス全員が同じ専門資格や専門就職を目指していますので、年齢差を気にせず学習に取組めます。

3 就職のこと

平成28年度の求人者総数は3,663人で求人倍率は20倍以上と多くの求人があります。さらに求人マッチングや面接指導等を通じて、全員の就職内定までサポートしていきます。

4 学費のこと

JO-BIには、奨学金などを借りて自力進学を果たしている学生も多くいます。支払のタイミングや返済の方法など、個別に相談をしながら無理なく進学をすることができます。

01 再進学を応援する特待生制度

JO-BIでは再進学費用を応援する特待生制度があります。
最大入学金免除となります。

●社会人特待生制度（専願）/定員10名〈AO入試出願可〉

対象学科	全学科	
申込条件	下記①～③のいずれかに当てはまる者で、出願前にオープンキャンパスに参加した者。 ①既に高等学校を卒業した者、または、高等学校に準ずる学校を卒業した者。 ②高等学校卒業程度認定試験（旧大検）など、高等学校卒業と同等の資格を有する者。 ③上記の他、入学時までに満18歳に達する者で本校の入学審査に合格し、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた者。	合格特典 ■入学金免除
判定方法	●書類審査　●面接試験　●適性試験（一般入試の場合）	
申込期間	①AO入試：平成29年9月15日（金）～9月29日（金） ②通常入試：平成29年10月2日（月）～平成30年1月18日（木） この期間内であっても定員との関係で募集を締め切る場合があります。	提出書類 ■入学願書（写真貼付） ■特待生制度申込書 ■受験票 ■最終学歴の成績証明書 ■振込受付証明書貼付票 （AO入試認定者は除く）
選考日	平成29年　10月7日（土）・10月29日（日）・11月3日（金・祝）・11月18日（土） 12月2日（土）・12月16日（土） 平成30年　1月20日（土）	
選考結果	選考日より10日以内に合否結果および免除の有無を文書にてご通知します。	
備考	●今年度大学・短大・専門学校などの卒業見込みの方も含まれます。 ●社会経験の内容や期間は問いません。	

02 再進学資金を考える

JO-BIでは多くの学生が奨学金等を借り入れて進学資金を工面しています。
卒業後も無理なく返済していくことが可能です。

1年制課程学科の総額
1,147,842円（概算額）
※公務員短期受験科の場合

●自己資金を進学費用の一部に　200,000円
＋
●日本学生支援機構奨学金を活用　960,000円
※毎月8万円の奨学金を1年間貸与
＝ 進学資金合計 **1,160,000円**

2年制課程学科の総額
2,518,842円（概算額）
※オフィスビジネス科の場合

●国の教育ローンを活用　600,000円
＋
●日本学生支援機構奨学金を活用　1,920,000円
※毎月8万円の奨学金を2年間貸与
＝ 進学資金合計 **2,520,000円**

03 オープンキャンパスへご参加ください。

●オープンキャンパス日程（開催時間は全て10:30～13:30）

10/7(土)　12/2(土)　2/24(土)
10/21(土)　12/16(土)　3/10(土)
11/3(金・祝)　1/20(土)　3/24(土)
11/18(土)　2/10(土)

●平日個別オープンキャンパス

お仕事の都合等で週末のオープンキャンパス参加が難しい方は平日個別オープンキャンパスへご参加ください。入試、学費、就職、検定取得など、ご希望に合わせて個別にご説明いたします。
（事前にお電話、webからお申し込みください）

オープンキャンパスのお申し込み方法

1 LINE@ でお申し込み!
①参加希望日、②参加希望学科、③氏名、
④学校名・学年（既卒含む）を入力し送信してください。

2 TEL でお申し込み!
担当者が参加希望日などを確認します。
0120-1984-41

3 ホームページからお申し込み!
http://jo-bi.jp/
オープンキャンパスお申し込みページから!

JO-BI DE 再進学

CHILD CARE

根本 志穂さん　担任：上國料多希先生

こども保育科（2年制）
1年

根本 志穂さん
（元：保育助手）

担任：上國料（かみこりょう） 多希先生

保育士の資格を取って、一生の仕事にしたい。

Q 高校を卒業した後の進路は？

根本さん　はい。子どもが好きで、高校在学中から、漠然とですが、「保育の仕事もいいかな」と思い、進路を検討していたとき、父が、市役所の広報誌で見つけた保育所の臨時助手募集を教えてくれて、仕事を始めました。

Q 実際に子どもに接してみて、いかがでしたか？

根本さん　理屈抜きで、「かわいい」です。でも、子どもって、大人をよく見ているのですね。私、バナナが苦手なんです（笑）。給食のとき、子どもたちに悟られないように、私なりに頑張って食べていたつもりなのですが、「先生、バナナ嫌いなの？」と、見破られてしまいました。工作なんかにも、大人では考えつかないような発想と表現があります。子どもだからといって、あなどれません（笑）。というより、保育の仕事をするには、ただ「かわいい」だけでなく、もっと子どものことを知らなくては、と思いました。

Q 資格の必要性はどう考えていましたか？

根本さん　助手のままでは、補佐的な仕事しかできません。子どもと身近に接していても、知識がなかったり、知識があってもスキルがなかったり、知識やスキルはあるつもりでも、それを実践する資格がなかったりで、してあげたくても、してあげられないことが少なくありませんでした。いま思えば、資格がないだけでなく、その行為にある〝保育〟としての意味までは理解できていなかった。だから、保育士の資格を取りたいと思いました。

Q 具体的には、どうされたのですか？

根本さん　悩んで、園長先生に相談したら、専門学校へ行くことを勧めてくださったのです。それで、インターネットで調べて、『JO-BI』へ見学にきました。保育士だけでなく、幼稚園教諭の資格も取得できることを知り、「ここで勉強しよう」と、即決しました。

Q 『JO-BI』での勉強は、どうですか？

根本さん　担任の上國料先生をはじめ、ほとんどの先生が、保育の現場を経験されています。保育が、単なる子守りではなく、教育であり、成長の手助けであることを、改めて実感しています。『JO-BI』は、資格取得のサポートが懇切丁寧で、先生も、学校も、とっても頼りがいがあります。

上國料先生　保育士は、子どもだけでなく、保護者とも向き合わなければなりません。「心を寄せる」ことによって、その背後にある、表面的には見えにくいものへの〝気付き〟が、きっとあります。根本さんは、その〝気付き〟ができる人だと思っています。当面の目標は、根本さんはもちろん、私たちにとっても、資格の取得が必須のミッションです。座学をおろそかにはできません。そのうえで、学生には、「ボランティアでも何でもよいから、積極的に現場へ行きなさい」と言っています。

Q 再進学で保育士を目指す方へ伝えたいことは？

根本さん　やりたいと思ったときがチャンスだと思います。社会人になってからでも、決して遅いということはないはずです。私も、保育士や幼稚園教諭の資格を取得して、一生の仕事にしたいと願っています。

上國料先生　焦点の合わせ方で、その人にふさわしい仕事かどうかが決まります。焦点を合わせるのは、ほかの誰でもない、その人自身です。そして、いつ、焦点を合わせ直してもよいのです。保育士や幼稚園教諭は、「人が成長する、もっとも大切な時期にかかわることができる仕事」。これほどやり甲斐のある仕事は他には無いと思います。ぜひ私たちと一緒に勉強しましょう！

JO-BI DE 再進学

OFFICES BUSINESS

オフィスビジネス科（2年制）
2年
門馬 愛実（めぐみ）さん
（『仙台高等専門学校』卒業）
担任：星かおり先生

担任：星かおり先生

門馬 愛実さん

銀行で、将来的には起業を支援したい。

Q 高専卒業後の進路はどう考えていましたか？

門馬さん　祖父・祖母の経営する会社が、汚染された土壌を洗浄して、資源として再利用する事業をやっていて、子供の頃から環境問題に興味があり、環境工学科が新設された『仙台高等専門学校』に進学しました。しかし、この分野への専門職内定は非常に狭き門だったことから、これまでの経験を活かしながら、社会に貢献できることは何かと考え、もう一度進路を検討することにしました。

Q 再進学を考えたきっかけは何でしたか？

門馬さん　祖父・祖母の話では、会社経営は、銀行の融資や、用地の取得など、資金面のハードルが高いと聞きました。それなら、「社会が必要としている会社の起業をお手伝いをするのも、大きな社会貢献だ」と考えました。「起業をお手伝いできる仕事？融資？――銀行！」。それで、「銀行に就職して、将来的には、融資の部署で、起業を支援したい」と考えたのです。でも、銀行に就職するには、一から勉強し直さなければなりません。それで、いくつもの専門学校を調べて、『JO-BI』に決めました。

Q 『JO-BI』での勉強は、どうですか？

門馬さん　在学中に、秘書検定と簿記検定、それに、FP（ファイナンシャル・プランナー）の資格も取得したいと考えていました。私、けっこう〝しつこい〟タイプなので（笑）、星先生を、「プリント、ください」とか、しょっちゅう煩わせていました。放課後にマン・ツー・マンで教えてくださったり、大変だったと思います。

Q 〝しつこい〟学生さんは、先生も大変ですか？

星先生　大歓迎です。教え甲斐があります。門馬さんは、近年まれに見る優秀な学生さんです。ピン・ポイントで銀行をめざしている〝本気〟を、つねに感じていました。無類の負けず嫌いですしね（笑）。門馬さんに限らず、学生さんは、「教員をこき使ってなんぼ」です。そのための教員なのですから。遠慮はいりません。

門馬さん　おかげで、すでに秘書検定準1級と、簿記検定2級を取得できています。

Q ピン・ポイントの就活は、成功しましたか？

門馬さん　はい。『東邦銀行』さんから内定をいただきました。ドキドキしながら内定の電話を受けたとき、「ありがとうございます！」が、思いっきり普段より高いトーンだったらしく、周りの人がクスクス笑っていました。本当に入りたい企業だったので、すごく嬉しかったことを覚えています。

星先生　『東邦銀行』さんは、県内でも大変人気で、就職試験は難関です。それでも、「門馬さんなら大丈夫だろう」と思っていました。ご本人はもちろんですが、『JO-BI』にとっても、快挙です。

Q キャリア・アップに挑戦する人へ、何か？

星先生　もう一度新しい学校に入学するのは、勇気が要ります。人生のターニング・ポイントになるわけですから。それなりの準備も必要です。でも、「このままでよいのか？」という迷いがあるままでは、現在の進路、あるいは、職場などでモチベーションを維持するのは難しいでしょう。そんなとき、異なる分野に再チャレンジするのもアリなのではと、私自身の経験からも思います。

JO-BI DE 再進学

SPORTS BUSINESS

担任：大内 広信先生

加藤 梨花さん

スポーツビジネス科（2年制）
2年

加藤 梨花さん
（『桜の聖母短期大学』卒業）

担任：大内 広信先生

スポーツ・イベントの楽しさに魅せられて。

Q 短大を卒業して、どうして『JO-BI』に？

加藤さん　短大のインターンシップで、『福島ユナイテッドFC』さんへ行ったとき、スポーツ・イベントを企画・運営する面白さと楽しさを知り、将来は、そういう仕事に就きたいと思いました。でも、就職活動の時期になっても、私の志望にかなう就職先がなくて…。そのことを家族と話したりしていたら、母が、インターネットで調べて、『JO-BI』にスポーツビジネス科があることを見つけ、オープンキャンパスへの参加を勧めてくれたのです。妥協して就職しても、きっと後悔するだろうと思って、『JO-BI』に入学することを決めました。

Q 入学から今まで、授業はどうでしたか？

加藤さん　オープンキャンパスで実習が多いと聞き、それも魅力のひとつでしたが、期待以上に実習が豊富で、とても勉強になりました。座学も大切ですが、実際に現場を体験するのが、いちばん身につくような気がします。もうひとつ、実習で得たのは、色んな人との出会いです。

Q 目指すのは、どんな就職先ですか？

加藤さん　最初の頃、家族の間では、『東北楽天ゴールデンイーグルス』さんなどの名前とかも出ていたのですが、『JO-BI』の実習で、色々なスポーツの現場を体験した今は、ひとつのスポーツではなく、複数のスポーツ・イベントにかかわることができる就職先がいいかな、と思っています。

Q 担任として、加藤さんはどんな学生ですか？

大内先生　スポーツビジネス科には、たとえば、インストラクターとか、トレーナーとか、スポーツ・ショップのスタッフをめざす道もあります。しかし、加藤さんの場合、志望がスポーツ・イベントの企画・運営というピンポイントで、そのために、『JO-BI』のスポーツビジネス科に入学したのですから、「スポーツ関連なら、何でもよい」というわけにはいきません。中途半端に妥協してほしくないし、全力でサポートします。

Q 担任の大内先生は、どんな先生ですか？

加藤さん　フレンドリーというか、学生との距離が近い先生です。学生が気軽に相談しやすい、絶妙の距離感をとってくださっています。これからも、頼りにさせていただくつもりです（笑）。

Q 再進学でキャリアアップを目指す方へ。

加藤さん　私自身が道半ばですから、アドバイスというより、エールを送ります。このままでよいのかどうか、迷いながら歩を進めている人は、いちど立ち止まって、じっくり考え、悔いの残らない決断をしてください。学生さんはもちろんですが、社会人の方も、「今しかできないこと」、「今だからできること」を、やり残さないようにしてください。私も、残りの学生生活を、そう心掛けて過ごしたいと思っています。

Q スポーツビジネスの将来性は？

大内先生　スポーツって、理屈抜きに楽しいですよね。プレイヤーも、観客も、そのスポーツにかかわる人も、楽しい空間を全員で共有できるのが、スポーツです。オリンピック・パラリンピックを目前にして、東京だけでなく、地方でも、スポーツ振興が進んでいます。ビジネス・チャンスも増えていますし、人材も必要です。スポーツにかかわる仕事をしたい人にとっては、好機だと思います。『JO-BI』をステップにして、スポーツビジネスにチャレンジしてください。

JO-BI DE 再進学

INTERNATIONAL TOURISM

国際観光科（2年制）
〔現学科名：観光科〕

2年

西村 優希（ゆうき）さん
（『神奈川大学』卒業）

担任：佐藤 宗先生

担任：佐藤 宗先生　西村 優希さん

資格と内定獲得の、充実した2年間。

Q 大学卒業後の進路はどう考えていましたか？

西村さん　父がバス会社を経営していて、父が懸命に働いているのを見てきたので、私も観光関係を志望していました。内定をいただいたのはタクシー会社で、目標には少し遠回りかなと、迷ってはいたのです。そんなとき知人に、『JO-BI』から観光関係の会社へ就職した話を伺いました。興味が湧き、オープンキャンパスに参加したりして、「目標実現には、『JO-BIの2年間』のほうが近道」だと考えたのです。

Q 大卒後のプラス2年の価値はありましたか？

西村さん　充分ありました。授業は、資格取得と実践授業の2本柱ですが、どちらも、とても充実しています。すでに国家資格の国内旅行業務取扱管理者を取得しましたし、大手旅行会社『（株）農協観光』さんの内定もいただきました。これからチャレンジする総合旅行業務取扱管理者は、海外旅行が対象になり、英語も入ってきます。かなり難度が高いのですが、自信はあります（笑）。4人の留学生も在学していて、グローバルな視点という意味では、大いに役立っています。中国人のクラスメートに案内してもらい2月に中国を旅行したのですが、彼女の故郷を訪ねたりして、普通のツアーとはひと味違う貴重な体験になりました。国際観光科は、授業以外でも収穫が多いですね。

Q 留学生の存在が、プラスになっている事とは？

佐藤先生　外国人留学生と、日本人学生が、机を並べて全く同じ授業を受けています。このことは、どちらにとっても、計り知れないほどのプラスです。国内旅行も、インバウンド（海外からの観光客）の伸びが顕著で、ビジネス・チャンスも多い。自国の旅行を扱うにしても、言葉を含めて、「外国のことは分かりません」というわけにはいきません。国際的に、グローバル化は自然な流れです。在学中から、日常的に外国人と交流し、異文化に接しているのは、とても貴重な経験だと思います。それと、外国人留学生たちの熱意が、本当にすごい。国家試験前は朝8時から夜8時まで、学校にいますからね。日本人学生の大いなる刺激になっています。

Q 学生と先生、お互いの印象は？

西村さん　佐藤先生は、ひと言で言うと「〝熱い〟先生」です。学生にずっと付き合ってくれて、ご自分のデスク・ワークは、夜遅くまでやっておられます。先生ご自身が向上心旺盛で、学生からも学ぶというスタンスなので、「一緒に成長できる先生」といった感じです。

佐藤先生　はい、成長させてもらっています（笑）。西村君は、大卒ということもあって、クラスでは最年長です。アニキ的な存在で、率先してクラスをまとめてくれています。担任としては、ありがたい存在です。

Q 再進学で観光業をめざす人に、伝えたいことは？

西村さん　ヤル気さえあれば、年齢も、国籍も、新卒か社会人かも、関係ありません。意欲を示せば、先生たちも、必ず応えてくれます。これから取り組むのは、募集型の企画旅行で、実際に実施します。在学中に、こういうリアルなビジネス体験ができるのも、『JO-BI』ならではです。

佐藤先生　今は、資格だけで将来が保証される時代ではありません。本校の特長は、実践授業です。県や国の事業も手掛けていますし、実践授業は、就職先へのアピールポイントにもなりますし、就職後もその経験が活かされます。

JO-BI DE 再進学

PUBLIC SERVANT

公務員短期受験科（1年制）

相川 真将さん
（元：製造業勤務）

担任：岩井 拓哉先生

担任：岩井 拓哉先生

相川 真将さん

消防士になる夢を実現するために。

Q 再進学のきっかけは何ですか？

相川さん　実は、中学生の頃から、消防士になりたいと思っていました。知り合いに消防署の署長さんがいて、話を聞いているうちに、「消防士って、カッコいいな。なりたいな」という気持ちが強くなりました。とくに、レスキュー隊（特別救助隊）員に憧れました。高校で野球をやっていた事がきっかけで、野球推薦で入った会社に3年と7カ月勤めていたのですが、そのあいだも、試験を受け続けていました。しかし、勤めながらの受験は、準備不足で合格することができませんでした。なので、専門学校で本腰を入れて勉強して、試験に臨もうと決心しました。

Q 『JO-BI』を選んだ理由は？

相川さん　高校時代の友人が『JO-BI』に進んで、公務員試験に合格し、卒業後は市役所に勤めていた事が理由です。『JO-BI』の合格率が高いことを、彼から聞きました。

Q 勉強は、はかどっていますか？

相川さん　最初の頃は、全く点数が取れなくて、勉強がイヤになりかけたこともありました。でも、「ここで諦めたら、もう消防士になれないだろう。『JO-BI』に入学したからには、絶対に消防士になる」と気持ちを立て直しました。それからは、分からないところがあったら、積極的に先生のところへ行って、教えてもらうようにしました。先生は、その都度、マン・ツー・マンで、私が理解するまで説明してくれます。気持ちに、ちょっとでもゆるみがあると、見透かしたように叱ってもくれます。おかげで、成績も伸びてきました。

Q 消防士に不可欠の体力づくりは？

相川さん　はい。昼休みには、昼食を後回しにして、ランニングや筋トレをやっています。ずっと野球をやっていたので、体力には自信があるつもりですが、最終目標はレスキューなので、体力づくりは欠かせません。

Q 社会人を経た相川さん。学生としてはどうですか？

岩井先生　何より、社会人としてのルールをわきまえているので、存在そのものが、他の学生のお手本になっています。彼の場合、野球をやってきたのも大きいでしょうね。「ルール」、「フェア・プレー」、「フォア・ザ・チーム」、「規律」を重んじる世界ですから。それに、スポーツマンらしく、とにかく明朗闊達です。相川君のおかげで、最初は、どちらかと言えば活気のなかったクラスの雰囲気が、ガラッと変わりました。歳の離れた私にはできないコミュニケーションの取り方で、クラスを明るくしてくれています。担任の私にとっては、いわば副担任です。

Q 再進学で公務員を目指す人へ伝えたいことは？

相川さん　公務員に限りませんが、自分のやりたい仕事に就くことができれば、おのずとヤル気が出るし、やり甲斐もあるし、一生の幸せです。そのための転身なら、挑戦する価値はあると思います。私も、消防士の次は、レスキュー隊員のオレンジの制服を着ることを目指します。

岩井先生　やらないでする後悔より、やってする後悔のほうが、尾を引かないはずです。公務員試験の場合は、年齢制限があるので、なおさらです。それに、社会人としての経験は、ブランクではなく、むしろアドバンテージです。「短期間に、全身全霊を傾け、集中して勉強する」こと自体が、一生の糧になると信じて教えています。何事も、諦めてしまえば、そんな自分を嫌いになるかも知れません。学生には、生涯、自分を好きでい続けるためにも、最後の最後まで、目標に向かって努力してほしい――自戒を込めて、そう願っています。